



自立・振気・敬愛

17日間の冬休みが終わり、後期後半が始まりました!

【後期後半・授業再開の全校集会】

皆さん、新年明けまして おめでとうございます。令和6年、西暦2024年が始まりました。この新しい年を迎えた1月1日に大変なことが起きました。午後4時9分に震度7の能登半島地震が発生しました。先生も自宅にいましたが、動けないほどのゆれでした。この地震により多くの方々が被災して、160名を超える人がお亡くなりになり、今なお行方不明になっている人も300名を超え、3万人以上の人々が避難所での生活を余儀なくされています。この能登半島地震で犠牲になった人たちに黙祷を捧げましょう。(1分間の黙祷) 今後自分たちができることがあったら、取り組んでほしいと思います。

さて、17日間という冬休みは、皆さんにとってはどんな休みになったでしょうか。冬休み前の全校集会で「新年を迎えるという大切な節目」をどう過ごすかが大事という話もしました。「一年の計は元旦にあり」と言うように、みなさんは、どんな今年の目標を立てましたか? 令和6年の新しい年のスタートを切るに当たって、皆さん一人ひとりが目標実現に向けて頑張してほしいと思います。

3年生の皆さんは、冬休みもお正月もない大変な日を過ごしてきたと思いますが、いよいよ進路を決定するための試練の日を迎えます。今までは先生方やおうちの人の協力を受けることができましたが、受験本番には自分だけの力で臨まなければいけません。あとわずかな日々を後悔しないように努力して欲しいと願います。

2年生の皆さんは、永平寺中学校の最上級生としての準備を後3ヶ月で済ませなければいけません。部活でも、冬の間が最後の大会に表れます。さらに、今の3年生の様子をよく見て、来年度の準備もしなければいけません。今本当に忙しく活動しなければいけないのが2年生なのです。

1年生の皆さんは、3ヶ月後にはいよいよ「先輩」になります。どんな先輩になろうと考えていますか。自分からあいさつができる先輩になりたい、優しく声のかけられる先輩になりたい、困っている人を助けられる先輩になりたいなど、分かりやすく実行できる目標を立てて今日から努力してください。

この年度最後の三ヶ月間は、とても早く過ぎ去っていきます。昔から、一月は「行ってしまおう」、2月は「逃げていく」、そして3月は「去ってしまおう」と例えられるほど、とてもあわただしく早く過ぎていく代名詞のように言われています。「光陰矢のごとし」 時間は矢が飛んでいくように早く過ぎ去っていくというたとえで言われるように、時間は止まることはありません。「今」という時を大事にして、一日一日を過ごしてほしいと思います。何が起きるかわかりません。日々の生活を地道にしっかりと歩んでいきたいと思っています。大変な年だからこそ、お互いを思いやり、永中生の当たり前前をひたむきに行う姿勢と笑顔で、学校生活を充実して欲しいと思います。終わります。

新しい年を迎え、今年度の振り返りと次年度への準備を始めます。

令和5年度スクールプランを作成し、永平寺中学校の1年をスタートして、9ヶ月が過ぎました。昨年7月に学校評価を生徒・保護者・教職員で実施し、下記のような【○分析と結果】・【▲課題と改善策】をもとに9月以降、学校教育活動を進めてきました。令和5年度も残り3ヶ月となり、今年度の振り返りを行い、成果と課題を確認し、残り3ヶ月の活動で見直しや補充、来年度に向けての計画作成の参考にしていきたいと考えています。本日各家庭へ案内を出しますので、ご協力をお願いいたします。

令和5年度 永平寺町 永平寺中学校スクールプラン

＜ 教育 目 標 ＞	「磨き合う」（知恵を磨く 心を磨く からだを磨く）
＜ 校 訓 ＞	自立 振気 敬愛
＜ めざす生徒像 ＞	強い意志をもち、自ら学び、心身を鍛える生徒 夢と希望をもち、ねばり強くやり抜く生徒 思いやりの心をもち、互いに高め合う生徒

研究主題 豊かな心をもち、深い学びを築く生徒の育成 ～「楽しい・わかる・できる」授業づくりの工夫～

【豊かな心】	【確かな学力】	【健やかな体と活力】	【信頼される学校】
◎「礼の心」を通して、自己を見つめる場の推進 ◎感謝と思いやりの心の育成 ◎仲間づくり活動の推進 ①自己を見つめる場の推進 「校門での礼」「授業前の黙想」「無言通簿」の実践（意識して取り組めた生徒80%） ②道徳教育・人権教育の充実 感謝と思いやりの心の育成 いじめの防止と早期発見、解決情報テラール教育の充実 ③協力し、認め合う活動の充実 学校行事・生徒会活動・部活動の充実（仲間と一緒に活動することが楽しい生徒80%） ④福井型ポジティブ教育の実践（1年目）	◎楽しくわかる授業づくり ◎できる授業 基礎・基本の充実 ◎個別最適な学びと協働的な学びの充実 ①楽しくわかる授業づくり 生徒の視点に立った授業改善（授業がわかる生徒満足度80%） 振り返りの充実（2年目） ②基礎学力の定着（できる授業） ICT活用（学研・心く・刊） ③個別最適な学びの充実 一人一人を大切にした学習指導の充実（ICT個別最適化支援） 授業のユニバーサルデザイン化 ④協働的な学びの充実 対面とICT併用の工夫 タブレットアプリの利用促進	◎活力ある活動の推進 ◎望ましい生活習慣の定着 ◎健康教育・食育の推進 ①学校行事・生徒会活動・部活動の充実 （目標を持って取り組めた生徒80%） ②望ましい生活習慣の定着 早寝、早起き、朝ごはんの定着（生徒達成度80%） ③スマートルール（PM9.5運動）の推進（生徒会活動） （意識して取り組めた生徒80%） ④健康教育・食育の推進 目や歯、姿勢の指導 給食指導の充実と食育の推進	◎家庭、地域との連携 ◎小学校、高等学校との連携 ◎学校の組織力強化 ①学校教育活動の情報発信 授業、行事等の学校公開 学校・学年だまの誌の発行 ホームページの更新 （様子がわかる保護者満足度80%） ②地域交流・人材の活用（ふるさと） （地域活動やボランティア活動に参加できた生徒80%） 社協連携「子どもを主とした地域での愛着を育くむ事業」 ③小中高連携の充実 小学校との交流、高校との交流 授業参観、小中、中高連絡会 ④全教職員協働 相談・協力し合える教師集団

＜業務改善のための取組＞ ・校務の効率化（ICT活用、会議等の時間短縮） ・チーム永中における報連相の徹底と協働（一声運動）

令和5年度学校評価(7月実施)について

永平寺中学校

【〇分析と成果 ▲課題と改善策】

【豊かな心】の育成

- ◎「礼の心」を通して、自己を見つめる場の推進
- ◎感謝と思いやりの心の育成
- ◎仲間づくり活動の推進

- 3年生は、2年生後期から生徒会活動・委員会活動のリーダーとして活動しているが、リーダーになったことで、より一段と挨拶運動や清掃活動の取り組みに意義を見いだしながら活動していると考えられる。
- 3年生としての自覚をもち、お互いの個性を認め合い、思いやりの心をもつなど、心情面での成長が見られるようになってきた。そのため、いろいろな活動に協力して取り組めるようになってきたと考える。
- 「ありがとうプロジェクト」を通して、人の良さを見る、認める、見つける視点が出てきた。次は、直接伝える場面がつけられると良い。

【確かな学力】の育成

- ◎楽しくわかる授業づくり
- ◎できる授業 基礎・基本の充実
- ◎個別最適な学びと協働的な学びの充実

- 「先生はいつも丁寧に教えてくれる」と回答した生徒が多数いることから、これからも教員は個に応じた指導を意識すべきと考える。
- ▲「授業で積極的に発言したり」という点で、生徒の回答はまいちであった。発言しやすい雰囲気づくりに努めるべきである。
- ▲3年生になり、入試に向けてテキスト等の取り組みを行うようになったため、2年生と比べて、学研ドリルを活用する朝学習の時間や、家での学習機会を十分に設定できなくなってしまう。自発的に活用するように声かけすべきと考える。
- ▲個別最適な学びを充実させるためには、基礎的・基本的な知識技能の習得が欠かせない。授業づくりをする上で、その教科が得意な生徒、苦手な生徒、どちらにもスポットをあてた授業展開を考えるべきである。
- ▲基礎・基本の定着に関して、コンテストを規模縮小したことで繰り返し学習することが少なくなっている面もある。生徒同士で教え合ったり、学研などを活用したりわからないことを調べる習慣付けがほしい。また、先輩からの学習のアドバイスや交流会がもてるとモチベーションが上がる。

【健やかな体と活力】の育成

- ◎活力ある活動の推進
- ◎望ましい生活習慣の定着
- ◎健康教育・食育の推進

- ▲生徒と保護者と、「スマートルール」「早寝、早起き、朝ご飯」の意識の差が大きい。生徒はできていると思っても、保護者はまだ不十分と感じているようだ。

【信頼される学校】

- ◎家庭、地域との連携
- ◎小学校、高等学校との連携
- ◎学校の組織力強化

- 社協などの地域の機関と連携してボランティア活動の機会が増えている。学校だけでなく地域が生徒を巻き込んで活動しているところが増えるといい。
- ▲夏休みのボランティア活動に参加した生徒の様子を広めるなど、次は参加してみようという意識を育てることが大事と考える。
- ▲学活を使ってクラスボランティアの計画を立案し、生徒が自分で考えてするボランティア活動を増やしたい。そのための「知る」学習活動を学校が担うと良いと考える。